

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		POCCOスタディしようわちゅうおう				公表日	2024年12月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・個別ブースで一人一台のパソコンが使えるので、個別の学習プログラムを進める上で適している。 ・個別ブースを2席ほど減らし、運動等ができるスペースを確保した。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7		・各種法令やガイドライン等の基準を守って、適切な配置人数で運営、支援に当たっている。 ・翌月のシフト等を複数の職員で入念に確認している。	・引き続き、左記の取り組みを行っていく。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		・室内は療育に用いるスペース・トイレとも複雑な構造の箇所はなく、バリアフリー化されている。 ・車いすの方も通れるよう、段差もなく、通路も確保できている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		・当日、出勤する職員が全員そろったとこで、清掃やPCの消毒等を行っている。	・今後も継続して行っていく。 ・水回りなどもこまめに行う。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		・クールダウン等が必要な際には、相談室を利用することができ。 ・カーテンで仕切られた空間もあるので、そこを用いることも可能である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・朝礼や月1回の全職員のミーティングで時間を取り、活動の振り返りや計画、業務改善の意見交換を行っている。	・今後も継続して取り組んでいく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年、11月～12月頃に実施している。 ・アンケート結果の振り返りや考察を行い、次年度の運営に活かしている。	・アンケートの結果を丁寧に考察し、今後のよりよい支援につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼・月1ミーティング・活動の検討会などを通じて、疑問点を解決・確認やよりよい療育活動の計画を行っている。経験の長い職員や上司に意見や改善をいただく機会もある。	・今後も継続して取り組んでいく。 ・日頃から意見や質問が出しやすいような環境、風通しの良い環境を整えていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・第三者委員会を開催し、運営等について報告し、助言をいただいた。	・引き続き、第三者によるアドバイスなども参考に、改善につなげていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・山内先生の月1の研修を通じ、職員の資質・能力の向上に努めている。	・引き続き、積極的に参加していく。 ・スタディで活用しているプログラム学習に関する研修にも参加できるよう、時間を設けていく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページで公開している。 https://www.pocco.jp/	・1日1日の活動内容だけでなく、1年間というスパンで計画的に活動を計画・実施していけるよう、今後も職員間で意見を出し合いながら運営に努める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・個別支援計画の作成前にアセスメントをとったり、モニタリング会議・関係者会議などを定期的開催し参加している。	・引き続き、保護者や利用者へ寄り添い、個別支援計画を作成し、支援に当たる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・サービス担当者会議などを通じて、指導員の意見を個別支援計画に取り入れている。日々の朝礼等でも気づいたことや疑問を指導員間で共有し、個別支援計画や専門的支援計画に活かすようにしている。	・利用者や保護者の将来の自立を見据えて、継続して取り組んでいく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画や専門的支援実施計画に基づいて、活動を計画したり実践したりしている。	・個別支援計画を指導員全員で読み合わせるなど、共有する時間を丁寧に確保して、日々の支援に活かしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・SM社会生活能力検査や知能検査の結果を個別支援計画・専門的支援実施計画に取り入れ、療育に活かしている。	・今後も各種検査を活かして、一人ひとりに力の付く活動を今後も展開していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・個別支援計画に記載している。	・今後も個別支援計画に記載する。また、必要に応じて学校・基幹相談支援センター・就労移行支援等の事業所とも連携が取れるようにする。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・月1ミーティングや活動の検討会などを通じて、職員間で質問や意見を出し合っている。職員同士で質問したりアドバイスを受けたりと、コミュニケーションを取りながら相談ができています。	・他事業所で人気の活動なども共有し、活動のレパートリーを増やしたり子どもたちの楽しい学びや経験につなげていけたりするよう、指導員の意識を高める。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の5領域を意識しながら、いろいろな活動を企画・実践するよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内活動が多かったり、運動活動が少なくなってしまうと、活動内容に偏りが出てしまった。学校休業日を中心にいろいろな経験ができるよう、活動内容を工夫する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援は個別活動、専門的支援は小集団の活動というように、活動に応じて個別と小集団を使い分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇の活動も個別のワーク、他者と協力しての調理活動、全員で楽しむ運動活動など、工夫して取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の朝礼でその日の支援内容・役割分担を確認することができている。 ・集団活動時は活動計画を職員間で共有して、支援内容を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も朝礼等での情報共有を継続する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・翌日の朝礼で、必ず前日の振り返りを行うことができている。集団活動では活動計画書に振り返りを記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、振り返りを丁寧に行って、支援を活かす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のサービス提供記録を写真付きで記録し、翌日には保護者に公開している。 ・業務日報や議事録なども整備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に記録を取ることに加え、ダブルチェックの体制なども整備していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成前にモニタリングを行い記録している。また、モニタリング会議等で成果と課題を把握し、支援を活かすよう努めている。 ・家族支援も丁寧に、支援を活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング以外でも家族支援や子育てサポート支援などをよりよい支援を活かせるようにつなげていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中に「4つの基本活動」の要素を取り入れられるよう、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでいく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の活動を用意して、その中から子供が選択できるような機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちの意思決定を大切にできるよう、継続して取り組む。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が基本的に参加できるようにしている。不在やお休みの時は、副責任者や児発管の指導の下で常勤の職員が対応できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行う。・責任者・副責任者以外の職員も同席し、スキルアップにつなげていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・役所の担当者や基幹相談支援センター、学校の先生、その他関係者を含めて開催される会議に必ず出席できるように、体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携して、同じ方向性や目標で試演を行うことは非常に大切。今後も継続的に実施できるようにする。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を学校にお迎え時に学校からお便りを直接いただいている。また、その日の利用者の様子をうかがうこともできている。下校時間の確認などもできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、学校との良好な関係を維持・構築できるよう努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報等を共有するため、関係者会議などに出席して、情報共有や引継ぎ、連絡を行っている。相談支援事業所や相談支援員さんが仲介し、情報共有を行っていることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に取り組む。引継ぎを丁寧に、利用者に対する理解を深めながら支援ができるようにする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報等を共有するため、関係者会議などに出席して、情報共有や引継ぎ、連絡を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に取り組む。引継ぎを丁寧に、利用者に対する理解を移行先の施設の支援者が深めながら、契約や支援に当たれるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議などを通じて、取り組んでいる。 ・教育関係のお仕事の方が事業所を見学される場合がある。そうした時にもアドバイスやお気づきの点をうかがうようにしている。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別적으로는、放デイと児童館を併用している利用者もいるので、交流がある。 ・公園などで、地域の児童・生徒と交流する場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行という観点からも、今後はこうした活動をより積極的に計画していく必要がある。 ・授業参観型のイベントの企画
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和町、中央市の基幹相談支援センターの協議会に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より積極的な参加・出席を目指す。 ・得られた情報を、職員全員により丁寧に共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援で日々の様子の共有や成果と課題などを丁寧に伝え合い、記録に残すことに力を入れている。 ・ケア記録やモニタリング会議なども有効に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者と良好な関係を築き、共通理解・認識のもと、支援を展開していく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・山内先生の個別相談会にお誘いするなどして、保護者の意識や対応力の向上に努めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、山内先生の個別相談会などを中心に、ペアレント・トレーニングを行っている。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧な説明を行い、保護者と一緒に確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。特に、全く新規で放デイを利用される方には、より丁寧に説明していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の家族支援やモニタリング会議などで、保護者と利用者のニーズや意見を聞き取る機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者に寄り添った支援のため、継続して取り組んでいく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や内容に変更があった場合などに、説明を丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援を中心に対応している。その都度、保護者に寄り添い話を聞き、必要な助言・支援を行っている。山内先生の個別相談会にお誘いすることもしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に相談される保護者がいらっしゃる一方で、ほとんど相談の無い方もいらっしゃる。定期的な声かけが必要。 ・指導員の、学習や進路などに関する相談や質問に適切に対応できる力をさらに高めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症等の流行もあり、計画的に企画・開催できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇などに保護者も参加できる活動やイベントを検討、企画していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対する対応体制を万全に整えている。マニュアルに沿い、的確に対応していく。 ・状況に応じて本部と連携しての対応、や第三者委員会など、フェーズごとに危機管理をしている 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEやInstagram, YouTubeなどで、活動概要・行事予定・連絡体制等の情報を発信している。事業所入り口の掲示板やチラシなども活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、様々な方法で情報を発信、共有していく。ご家庭ごとに最も触れやすい媒体での発信に努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報整理されているファイルは、鍵付きのロッカーで厳重に管理している。 ・SNSや動画の顔出しの可否は、アンケートを取って確認している。 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ごとの特性や個性を把握した上で、それぞれに一番適した伝達方法で情報を提供している。 ・情報の視覚化や、端的な言葉による説明などがけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などもとおして、よりよい情報伝達や共有を図る。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民の方を招く機会はあまりなかったが、地域の施設に(美術館など)赴き、そこで活動をしたり職員や地域の方のお話を聞いたりする機会を設けてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域住民の方を巻き込んだ活動を提案していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・防災、防犯、感染症対応、事故発生時の対応などについて、マニュアルや計画を作成してある。 ・各種訓練を行う計画を作成し、それに則って訓練をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の活動と共に、マニュアルの内容などについても簡潔な説明と共に保護者に共有していく。訓練実施の様子等もSNSや動画で配信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・各種BCPを整備している。 ・長期休暇の活動として、地震や火災を想定した避難訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行なう。BCPは実態に応じて適宜、改定してよりよいものにしていく。 ・保護者にも避難訓練の様子等を発信し、取り組みや防災計画等に意識を向けてもらえるよう取り組む。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報を個別のファイルに挟んでいつでも確認できるようにしている。朝礼や月1ミーティングでも扱っている。服薬については重要事項を改定し、ご家庭での服薬等をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者には丁寧な説明や聞き取りを、職員には入念な情報共有を心がけていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の目にする場所に子どもの食品アレルギーを記述したホワイトボードを貼り、情報共有し、その都度食品を確認できるようになっている。 ・HUGの登録情報も確認・参照している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、誤りのないよう、個人及び事業所の組織として、確認体制をとっていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練やBCPとあわせて、計画を整備したり必要な措置・取り組みを確認した入りして、非常時にも対応できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各種訓練等とあわせて、定期的に確認していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明などととも説明をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練を実施する際などに、保護者にも積極的に事業所での取り組みなどを伝える機会を設けていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・Excelにまとめて、データを蓄積している。 ・他事業所での事例を責任者会議で共有している。その事例は月1ミーティングをとおして、各事業所の職員に共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ヒヤリハット事例をデータにまとめ、共有して今後に生かしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・山内先生の研修を中心に、職員全体で学ぶ機会を設けている。 ・虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置して、虐待防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修などを活かして、具体的な事例や制度もともに学び、虐待防止に対する理解を深めていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をして、同意を得ている。また、必要に応じて、個別支援計画に記載している。 ・身体拘束的背委員会を設置し、対応等を情報共有していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も左記の取り組みを丁寧に行っていく。 	